

J・S・バッハが描いた
音の森羅万象



J.S.バッハ
平均律クラヴィーア曲集
第1巻全曲

高橋望 ピアノリサイタル

2.12 2018
月・祝

会場 / 下関市生涯学習プラザ 風のホール (下関市細江町 3-1-1)

開演 / 13:30 (開場 13:00・終演予定 16:00)

料金 / 一般: 2,000円 大学生以下: 1,000円 ※全席自由

主催 / 株式会社素敬 ゆっくり小学校

J.S.バッハ平均律クラヴィーア曲集第1巻全曲

高橋望 ピアノリサイタル

バッハはなぜ音楽の父と言われているのでしょうか? それは現在私たちが耳にする、殆どの音楽の礎を作ったからだと思います。この礎がなかったら、その後の音楽も全く異なった響きになっていたに違いありません。それまでは理論上可能でも、実践では不可能と言われていた、全ての長調と短調で演奏できることを、平均律クラヴィーア曲集第1巻(1722年)の作曲をもってバッハは実証したのです。1オクターブの中には音が12種類、それらの音を使って12種類の明るい調子(長調)と12種類の暗い調子(短調)のあわせて24種類になるのですが、12という数字は、12カ月、干支、黄道十二宮など、また24という数字は1日が24時間であり、私たちに身近な数字でもあります。バッハはこれら自然の摂理と人間のもつ喜怒哀楽の表情をこの曲集に込めたのではないのでしょうか? バッハの描いた森羅万象を、美しい旋律、躍動するリズムの中に感じていただけたら嬉しいです。皆さまのご来場をお待ちしております。 — 高橋望

2018年2月12日 月・祝

会場 / 下関市生涯学習プラザ 風のホール (下関市細江町 3-1-1)
開演 / 13:30 (開場 13:00・終演予定 16:00)
料金 / 一般: 2,000円 大学生以下: 1,000円 ※全席自由
主催 / 株式会社素敬 ゆっくり小学校

チケット取り扱い

・下関市生涯学習プラザ
・ゆっくりweb ▶ <http://yukkuri-web.com/archives/7072>
・イープラス ▶ <http://eplus.jp/>



高橋望による平均律クラヴィーア曲集のお話会

バッハについて、平均律について、また楽譜を読めない方、クラシックに詳しくない方にもわかりやすくお話しします

2018年2月11日 日

会場 / 下関市生涯学習プラザ 大練習室 (下関市細江町 3-1-1)
時間 / 14:00 ~ 16:00 (開場 13:30)

料金 / 1,000円

申込 / ゆっくりweb ▶ <http://yukkuri-web.com/archives/7072>
主催 / 株式会社素敬 ゆっくり小学校



高橋望 Nozomu Takahashi

埼玉県秩父市出身。ドレスデン国立音楽大学で国家演奏家資格試験を最優秀で修了。同大学院マイスタークラス修了。G・ガンドルフィ国際ピアノコンクール第2位、園田高弘賞ピアノコンクール第3位。故郷秩父市にてリサイタルシリーズを開催、これまでにバッハの平均律第1巻全曲等32回行い来場者は7400人を超える。「この曲のココがスゴイ!」などトークを交えた公演で音楽を聴く楽しみを幅広く提供していくことに意欲をもやしている。NHK-FM名曲リサイタル等出演。CDはソロアルバム、フィンランドの名手とのシューベルト・ピアノトリオ他があり、最新盤である「バッハ・ゴルトベルク変奏曲」は、レコード芸術9月号で準特選盤に選ばれた。第15、16回大阪国際コンクール審査員等つとめる。